



レオXIV世教皇の誕生、おめでとうございます。

第63回全国大会にむけて

会長 清水 裕子

今大会のテーマは、「いのちの奉仕者～カトリック看護師としてどういのちに向き合うか～」です。

今回の大会ミサを司式される福岡教区長ヨゼフ・アベイヤ司教は、6月28日に松山教会で司祭叙階式を司式されました。そのときのことを思い出します。新司祭、ヨゼフ・ガブリエル兵頭俊介神父の召命の階段は次のようなものでした。郵便配達を9年間も続けている青年が松山教会にも郵便を届けていました。あるとき彼は、主に見いだされて洗礼を受け、1年後には評議会議長を務め、そして10年後に司祭になりました。このことから、司式をされたアベイヤ司教は式の最後に、侍者を務める少年達に向かって『君たちも準備していなさい』と声をかけられました。主はどこに召しだしを見いだされるかわからないのです。

我々の仕事は、常々、自らの能力を超えるかもしれないという要請を受けることがあります。こんなケアは未経験だとか、こんな状況にはついていけないとか。そんなときに、大会タイトルの『どう、いのちに向き合うか』と問うのかもしれませんが。我々は、しばしば自分の内的過程に目を向けて、右往左往したり、ためらったりすることがあります。先の召命の階段は、その向こうに『主』を見いだしているのではないのでしょうか。

今年の4月3-4日にローマでCICIAMS理事会が開催され、5-6日は保健医療従事者のジュビリー（巡礼）でした。4つのバジリカ（大聖堂）を訪問し、その一つ、前の使徒座サン・ジョバンニ・イン・ラテラノ大聖堂も訪問しました。実はそれは2回目の訪問でした。道路を挟んで向かい側にスカラ・サンタ（聖なる階段）がありますが（コンスタンティヌス帝母ヘレナにより、イスラエルにあったピラトの宮殿内からローマに移築された、と伝えられている）、前回のイタリア旅行は一般の旅行者として訪れたので、そのスカラ・サンタは訪問しませんでした。ケニアからの理事の一人は、『ステップス』といってとても有名だと話しました。脚の悪い人はやめておいた方がよいということだったのですが、そのケニアの友人が誘ってくれたのでチャレンジすることにしました。それが無謀と知ったのは後の祭りでした。



階段は28段あり、一段の奥行き30cm程度で歩いて登ることはできず、跪いて一段毎に10分程度の祈りを捧げながら最上段の十字架のキリストの足下まで登ります。それはキリストの受難の苦しみを共にするという意味があるそうです。四旬節だったので始めるまでに30分ほど順番を待ち、さらに登るのに30分以上かかりました。階段は木製で、多くの巡礼者の膝でこすられて波打っていたので、只、膝が痛いだけではなく、真面に跪くこともむずかしいほどの階段でした。幼い子供も含め、人がギッシリと詰まっていたので先にも後にも動くこともできず、流れの中で登りました。無心に上る人々は只、最上段のキリストを見いだしながらの巡礼でした。

『新しい教皇レオ14世とともに』



本部顧問司祭 パウロ 暮林 響

神様、私たちが新しい教皇を迎え、新しい教会の歩みが始まっている今、どうぞ私たちを照らしてください。

教皇フランシスコが私たちに遺してくださったさまざまな思いやメッセージも胸に秘めながら、教皇レオ14世とともに私たちの看護の奉仕の務めがいつもみ旨にかなうものであるように、どうぞ私たちを守り導いてください。常に良き牧者であるイエス様ご自身が私たちの知恵を豊かにし、私たちに勇気を与え、私たちに技術的にも、心の働きにおいても、成長させてくださるように、どうぞたくさんのお恵みをお与えください。

私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第70回 全国総会開催報告

2025年5月24日（土）14:00～17:00に第70回全国総会（オンライン）が開催されました。

開催方法 オンラインZoom（神言会）

配布資料 2025年日本カトリック看護協会第70回全国総会資料（事前配布）

会議の趣旨説明 2025年第70回全国総会は規約第28条に基づき開催される。

会議の議事 規約32条に基づく

総会出席者定足数の確認 規約29条に基づき過半数の支部長の参加により定足数は充足され総会を実施する。

出席者紹介

支部長：札幌支部長 佐藤昇子氏、仙台支部長 小関睦氏、東京支部長 千田宏子氏、横浜支部長 井坂玲氏、名古屋支部長 鈴木光恵氏、京都支部長 西川加之子氏、大阪高松支部長 井上理恵子氏、高松G長 阿上真理氏、広島支部長 山口郁乃氏、福岡支部長 杉本美香氏、大分支部長 阿南幸子氏、長崎支部長 Sr山本ふみり氏、鹿児島支部長 重留万希子氏、（陪席 Sr.澤ヤエ子氏）

顧問司祭：本部 暮林響師、札幌支部 簗島克哉師、大阪高松支部 大久保武師、

高松G イスマエル・ゴンザレス師、広島支部 山口道晴師、長崎支部 鶴巻健二師

本部役員：会長 清水裕子氏、副会長 Sr.石岡ヒロ子氏、広報役員 Sr.水浦ふじ子氏、財務役員 山口道子氏、広報指名役員 前田明子氏、財務指名役員計理担当 堀田光子氏、広報指名役員ホームページ担当 巻島愛氏
議長・議事録担当者の選任

会長推薦により議長を本部役員の水浦、議事録担当を本部指名役員の前田氏が担った。

祈り

開催にあたり、暮林顧問司祭の先唱で「会員の祈り」を唱和し、その後暮林顧問司祭の講話が行われた。

【総会概要】

2024年度事業報告について清水会長より説明があった。会員数は2025年4月1日時点で209名であった。2025年度は支部長交代は広島支部が阿川昌子氏から山口郁乃氏（前会長）へ、鹿児島支部がSr沢ヤエ子氏から重留万希子氏へ支部長を交代した。

2024年11月16日、本部主催の研修会を開催した。テーマは「教皇庁教理省宣言-人間の尊厳について」であった。（詳細は広報第39号を参照）参加者は当日オンタイム参加者39名、後日視聴者27名であった。また2025年2月11日世界病者の日に本部主催の黙想会を開催した。清水会長の進行により、教皇メッセージをふまえて講師の諏訪榮治郎名誉司教から、病人との関わりについてご自身の体験から講話を頂いた。

本部事業としてベトナム語による「リプロダクトヘルス・オンライン相談」、「スピリチュアルケア・研究会」、「プラチナジュビリーワーキング」を立ち上げ、検討もしくは進行中である。「会員手帳」は新入会員へも随時配布される。

CICIAMS関連

2024年6月24日、清水会長がケン・スレイマン神父と闘病中の前CICIAMSアジア地区長マレーシアのフランシスカ・マランティン氏をお見舞いのために渡航した。同氏は2025年1月に逝去された。

2024年8月6日の世界総会に清水会長がケン・スレイマンCICIAMS教会補佐とともに出席し、清水会長が執行役員であるアジア地区長に選任された。2024年8月7-9日にCICIAMS第7回アフリカ地域会議が開催され、清水会長とケン・スレイマン神父が各々の演題を発表した。

続いて決算報告、監査報告が行われた。次に2025年度の事業計画、予算案、規約改正などが審議された。規約改正では第3章【会員の項】に「機関会員」の提案と「退会手続き」の提案がなされ、承認された。また、会員が次第に高齢化し、会員としての活動が困難になってきているため退会を希望する場合もあるが準会員として残ってもらいたい等、支部の現状を反映した活発な意見が交わされた。

2025年度の事業計画について会長より説明された。

2025 年度事業計画

部門	事業
本部	第 70 回全国総会 5 月 24 日（土）14：00-17：00 オンライン
	2025 年度臨時総会 9 月 14 日（日）17：00-18：30 久留米ハイネスホテル
	本部役員会 年間 4 回程度開催予定である。主にオンライン会議
大会	第 63 回全国大会 9 月 15 日（月）8：30-17：00 聖マリア病院井手一郎ホール/担当 福岡支部
	第 64 回全国大会 2026 年 9 月 20-21 日 ハートンホテル梅田、カトリック梅田教会
	第 65 回全国大会 東京支部主催で開催予定
広報	2025 年 6 月に 40 号発行（総会報告）、10 月に 41 号（全国大会）、12 月-1 月に 42 号発行予定
	さくらインターネットのホームページ更新・整備 「70 周年に向けて」のワーキング
渉外	日本カトリック医療施設協会-2025 年 6 月 7 日（土）トップ懇親会 名古屋
	日本医療団体協議会（3 団体）の運営委員会-2026 年 2 月 15 日ガラシア病院で開催と交流
	看護大学との交流としてニュースレター送付について検討する。 次世代育成：第 63 回全国大会での学生ワーキングは、参加者がいる場合は検討する。長崎支部より高校生 1 名参加予定
研修	本部主催黙想会：2025 年 2 月 11 日「世界病者の日」

CICIAMS関連

- ・ 2025年4月3-4日ローマにて理事会開催。ケン・スレイマン神父と清水アジア地区長が参加
- ・ 2025年4月5-6日ローマにて4大バジリカの巡礼、サンピエトロ大聖堂で保健医療従事者のためのミサに参加
- ・ 2026年6月20-21日、バングラデシュカトリック看護協会年次総会にケン・スレイマン神父と清水アジア地区長が招聘され、教育セミナーをそれぞれ実施予定である。
- ・ 2025年8月29-9月1日マレーシアカトリック看護協会黙想会に指導司祭としてケン・スレイマン神父が招聘された。清水アジア地区長も参加予定。
- ・ 第22回世界大会 2026年11月11-13日バンコクカトリック研修センターにて開催予定。現在、JCNAからの演題を募集中である。

Date	9.00 - 12.00			12.00-13.00	13.00 - 17.00			18.00
11/9	Executive Board Meeting 理事会			Lunch	Executive Board Meeting			Dinner
11/10	General Council Meeting 総会			Lunch	General Council Meeting			Dinner
8.00 - 8.45	8.45 - 10.15	10.15 - 10.30	10.30 - 12.00	12.00 - 13.30	13.30 - 15.00	15.00 - 15.30	15.30 - 17.00	18.00
11 カトリック看護師の人間の尊厳と平和に関する視点								
開会ミサ／開会式／国旗パレード	Break	基調講演 1：カトリック看護師の人間の尊厳と平和に対するスピリチュアリティの側面。 基調講演 2：ヘルスケアの神学を適用するカトリック看護師の視点		Lunch	シンポジウム 1：家庭と職場における人間の尊厳と平和の共通課題	Break	シンポジウム 2：コミュニティと国家レベルでの人間の尊厳と平和の問題の認識	Dinner
12 カトリックの看護師がさまざまな環境で人間の尊厳と平和を推進できるよう支援する								
Mass	要約と考察 全体会議 1：受胎から尊厳ある死に至るまで、カトリックの看護師に人間的価値を促進する力を与	Break	全体会議 2：人間の尊厳の促進、予防、回復に不可欠なスキルと技術	Lunch	スキル構築セッション：人間の尊厳と平和を回復するための必須スキル。	Break	ポスター発表	文化交流会食

2025年度予算について財務役員山口氏より説明があった

支入の部(単位:円)						
科目		予算額	前年度予算からの差異(△減)	摘要		
会費収入	2025年度継続会費前受金(2025年1～3月前受分)	678,000	42,000	継続会員166名、継続準会員7名、計173名		
	2025年度新入会費(2025年1～3月前受分)	18,000		新会員4名、新準会員1名、計5名		
	2025年度継続会員(当該年度払い)	124,000		仙台5名、東京26名、計31名		
	2025年度新入会費	80,000	0	20名		
	過年度会費	0	0			
事業収入	寄付金	0	0			
雑収入	過払い金	0	0			
	受取利息	500	450	ゆうちょ銀行		
当期収入計(A)		900,500				
前期繰越収支差額		6,702,821				
収入合計(B)		7,603,321		前受金額は貸借対照表		

支出の部(単位:円)						
科目		予算額	前年度予算からの差異(△減)	適用		
事業費	全国大会費	170,000	20,000	大会支援費 ※司教謝礼による増		
	全国総会費／臨時総会費	250,000	△ 50,000	本部役員6名の参加費旅費宿泊費		
	研修会費	30,000	0	世界病者の日の黙想会等		
	広告費	20,000	△ 60,000	カトリック新聞広告費を除く		
	CICIAMS参加費	150,000	△ 250,000	理事会参加費に係る経費のうち半額を補助 (2025年ローマで理事会済、2026年バンコクで理事会・総会・世界大会)		
	日本カトリック医療団体協議会参加費	86,000	36,000	対面 ※毎年2月に開催(大阪ガラシア病院、会長・副会長参加)、6月7日医療協講演会		
管理費	通信運搬費	100,000	30,000	Web関連費(ドメイン料、サーバー料)、送金及び為替手数料、郵送費 ※令和7年度単価上昇による増		
	会議費	4,000	4,000			
	旅費交通費	39,500	△ 60,500	顧問司祭、会長、副会長と顧問司教面談(2025年度はメールで対応)		
	消耗品費	1,000	0	事務用品		
	事務局費	10,000	0			
	印刷費	10,000	△ 40,000	会議に伴う印刷等		
	CICIAMS年会費	0	△ 130,000	2025支払済み、2026年度\$420は2026年払い予定		
	日本カトリック中央協議会公認団体更新料	10,000	0			
	日本カトリック医療団体協議会年会費	20,000	△ 20,000	2025年度会費		
	予備費	0	0	※隔年での経費増への対応のため。		
当期支出計(C)		900,500				
当期収支差額(A)－(C)		0				
次期繰り越し収支差額(B)－(C)		6,702,821				

全国総会/臨時総会費、広告費、CICIAMS参加費、印刷費は減額となっている一方、全国大会費、通信運搬費は（諸々の単価上昇により）増額となっている。2026年度はCICIAMS年間費の納入が予定されているため赤字が見込まれる。予備費については財政厳しき折、計上なしとなった。

本部業務手順書の作成
 広報より「オンライン黙想会開催手続き」、「通信編集手続き」を作成した。準備段階から実施、実施後まで一連の過程を基本的にまとめている。有効に活用されている。
 また、財務業務手続きについては財務手順書-「JCNAの財務管理に関する基本的手順」が作成された。

全国支部からの話題

1. 名古屋支部からの報告(2025年3月14日受理)

能登ボランティア活動報告

JCNA 名古屋支部の災害支援ボランティア活動2月14～16日の主な活動は能登島の仮設住宅とカリタス七尾ベースで行われる『じんのびカフェ』のお手伝い、健康相談+ハンドマッサージと和倉温泉周辺の視察でした。今回の活動は昨年7月、11月に続いて3回目でした。ボランティア活動の拠点はカリタス七尾ベース(カトリック七尾教会)です。会員4名で名古屋から2泊3日で参加しました。7月は輪島での活動、11月は民間災害ボランティアセンター「おらっちゃ七尾」の活動に参加して公費解体前の家屋の片付け、荷物の分別・運び出しのお手伝いと「ついたちの祈り ついとうの祈り」を共にしました。

カリタス七尾ベース周辺でも、車道は舗装工事が終わっているようでも、歩行者道路のあちこちに亀裂や陥没が残っており住宅の解体工事もありこちらで見られます。右上の3枚の写真はいつもお世話になる【総湯】のある和倉温泉周辺(2025.2.15)の様子です。

七尾ベース前で毎週日曜日に行われる『じんのびカフェ』ですが【健康相談+ハンドマッサージ】というチラシ宣伝をすることで、より多くの年齢層の方の目に留まって初めて参加されたという方もいました。名古屋教区からは継続的な支援をして欲しいという声があり、出来る限り応えたいという想いの反面、現職の立場で3日間連続休暇が取りにくい、全額自己負担という葛藤の中で3か月に1回程度しか活動できない現状です。被災地では、まだまだ支援の手を必要とされています。お仕事以外の活動もあります。全国の会員の皆さまの中で一緒に活動してくださる方はご連絡ください。

現地に行けない会員の祈りに支えられながらこれからも継続していきたいと思っています。

※『カリタスのサポートセンター』のブログ・SNS (Facebook・Instagram等) もご覧いただけます。

JCNA 名古屋支部長 鈴木光恵

*記事内の機関・名称等の掲載および肖像権は許可されています。地図出展:石川県観光協会

2. 第63回 全国大会のお知らせ

開催日時 2025年9月15日(月)8:30～17:00、開催支部 福岡支部(杉本美香支部長)
 開催会場 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 井手一郎ホール
 テーマ いのちへの奉仕者～カトリック看護師としてどういのちに向き合うのか～
 ミサ 福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教 / 基調講演 大分教区長 スルピス森山信三司教
 同時開催 2025年度臨時総会(2025年9月14日日曜日17:00～、ハynesホテル久留米にて)

<午前の部>

08:30～09:00 受付
 09:00～09:10 オリエンテーション
 09:10～09:40 開会式
 日本カトリック看護協会キャンドル点火
 ナースの祈り
 挨拶 日本カトリック看護協会会長清水 裕子
 日本カトリック看護協会福岡支部支部長杉本 美香
 カトリック福岡教区長ヨゼフ・アベイヤ司教
 JCNA会歌
 10:00～11:00 大会ミサ ※場所:雪の聖母聖堂
 主司式 カトリック福岡教区長ヨゼフ・アベイヤ司教
 11:00～11:15 記念撮影 ※場所:ルルド広場(雨天時聖堂内)
 11:45～13:15 昼食・懇親会:井手一郎ホール脇ラウンジ

<午後の部> (一般参加)

13:00～13:30 受付
 13:30～14:15 基調講演
 講師 カトリック大分教区長森山 信三司教
 14:20～15:15 演題発表
 発表① 発表② 発表③
 (休憩)
 15:30～16:00 パネルディスカッション
 16:15～16:30 閉会式
 JCNA会員の祈り
 決意表明
 次回大会への引き継ぎ
 閉会の辞
 16:30 解散

昼食タイムは、懇親会としており支部の紹介を行います。各支部でご準備をお願いします。
 そのほか、皆様の歓談、意見交換等の時間にお使いください。

1. CICIAMS理事会が2025年4月3-4日にバチカンで開催予定された。



Fig.1 ITA航空路は通常はウクライナ上空を横切るが戦争のため迂回した Fig.2 会議後に徒歩でサンピエトロ大聖堂ミサに出席
(理事メンバーは左から高齢者委員長カンダのベアトリス氏、アフリカ地区長ケニアのカーボ氏、国連代表の米国のアン氏、財務のイタリアのマリア氏、倫理委員長のナイジェリアのジョイス氏、ヨーロッパ地区長ポーランドのゴシア氏、国際会長エスワティニのゴシ氏、ケン神父、清水、家族委員長のナイジェリアのSr.セシリア、国際秘書の米国ダミアン氏、元国際会長のアイルランドジェラルディン氏、専門職委員長のケニアのローズアン氏、規約委員長ケニアのグレイス氏、後列左からローズアンの娘)



Fig.3 教皇フランシスコが埋葬されたサンタマリアマッジョーレ大聖堂



Fig.4 サンピエトロ大聖堂内保健医療者のためのミサ(ポーランド看護協会)



Fig.5 ラテラノ教会



Fig.6 入り口の扉



Fig.7 右側の扉



Fig.8 大聖堂内部



Fig.9 広場でのミサ



Fig.10 ミサ後にサプライズ登場された教皇フランシスコ



Fig.11 最前列で祈に参加

2. 4月5-6日に「病者と医療従事者のためのジュビリー巡礼」がバチカンで開催され、CICIAMS本部教会補佐、ケン・スレイマン神父と清水アジア地区長・本会会長が参加された。
3. CICIAMS2025年版倫理ガイドラインJCNA検討結果
2026年11月10日の世界総会で主任され、2015年版の改訂版が公式3カ国語で公表される予定である。
4. 2025年6月20日に開催予定のバングラディッシュカトリック看護協会年次総会にケン神父、清水会長が参加した。



Fig.12 黙想の家



Fig.13 チェペルでのミサ



Fig.14 毎食登場のジャックフルーツ



Fig.15 Bejoy N D Cruze大司教と



Fig.16 現地には二種の民族衣装



Fig.17 講義風景

5. 2025年8月29日から9月1日まで開催予定のマレーシア国カトリック看護協会年次総会でケン・スレイマン神父が黙想指導で訪問予定です。

本部からのお知らせ



1. 在日外国人のための妊娠相談事業が開始
2025年1月1日から在日外国人研修生などを対象に、妊娠・出産に関するオンライン相談の受付を開始しました。現在は、通訳者確保の関係でベトナム人青年のみを対象として開始しました。
2025年度ミーティングは、7月9日(水)19:30からオンラインで開催予定。
2. 6月18日、日本カトリック会館における司教の集いにおいて、清水会長が話題提供。本年10月開催の第2回高齢者司牧に関する国際会議の準備段階として、高齢者司牧に関する方向性について意見交換が行われた。

編集後記

フランシスコ教皇が亡くなり、新しい教皇レオ14世が誕生しました。フランシスコ教皇のトレードマークは微笑みでした。フランシスコ教皇の後を継ぐレオ14世とともにJCNA会員は、微笑みをもって日々の看護のなかで病める人の良き友となりキリストの愛を分かち合っていくことができますように。 広報担当

発行日	2026年7月10日
発行責任者	清水 裕子
編集	日本カトリック看護協会本部役員会
創刊年	1957 (昭和 32)